

超撥水 ドライ スプレー II 取扱説明書

正しくご使用いただくために、作業の前に必ずお読みください。
後日必要な時のためにお読みになった後は大切に保管してください。

◆安全上の注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご自身や他人へ危害・損害を未然に防止するためのものです。その表示と意味は次のようになっております。
内容をよく理解していただいてから、作業をしてください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
必ずお守りください。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容です。必ずお守りください。

警告

*可燃性ガスが入っており極めて引火しやすいので注意すること。
*有機溶剤中毒の恐れがあるので注意すること。
*中通し釣竿内面の撥水加工の補修用途以外には使用しないこと。
*吸入・飲用不可 人体に害があるので、吸入したり飲んだりしないこと。
*皮膚の弱い人は、かぶれる恐れがあるので、保護手袋を使うこと。

火気と高温に注意



高圧ガスを使用した可燃性の製品であり危険なため、下記の注意を守ること。
①炎や火気の近くで使用しないこと。
②火気を使用している屋内で大量に使用しないこと。
③高温にすると破裂の危険性があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40度以上となる所に置かないこと。
④火の中に入れないこと。
⑤使い切って捨てること。

応急処置

*万一飲み込んだ場合は、吐かせず直ちに本品持参の上、医師の診断を受けてください。
*誤って目に入った場合や、皮膚・顔等についた場合は、直ちに清浄な水で充分洗浄し、異常がある場合は本品持参の上、医師の診断を受けてください。
*使用中気分が悪くなった場合には、直ちにご使用を中止し、通気のよい所で安静にし、気分が回復しない場合、本品持参の上、医師の診断を受けてください。

使用上の注意



*ご使用の際は、必ず風通しの良い場所でご使用ください。
*人体に向けて使用しないでください。また、ノズルボタンを装着する場合は、ノズルを人体に向けてないようにし、噴霧の際は方向を確認してからご使用ください。
*撥水剤が手についた場合は、石鹸で洗い流してください。
*引火性があるので火気の付近で使用しないでください。
*用途以外のご使用はおやめください。
*容器を落としたり、衝撃を与えないでください。
*缶を逆さま、又は真横にして使用しないでください。ガスだけが出て最後まで使い切れません。
*衣類に付着するとシミになる恐れがありますので注意してください。
*目的以外の場所に付着した場合は、直ちに柔らかい布等で拭き取ってください。
*インターラインロッドの内面以外には使用しないでください。
*リールシートやロッド外面にスプレー剤が付着した場合はすばやくふき取ってください。
塗装や印刷が剥がれたり、変色する場合があります。
*噴射秒数を必ずお守りください。
*塗布後白い粉が出ますが、これは余分に塗布された粉が取れるだけで性能上問題ありません。
*節の出し入れの際に、多少粉が出ますが、機能的には問題ありません。
*他のスプレーとの併用の場合は、十分な性能が得られない場合があります。

使用上の注意



*冷暗所保存の目安温度は10～30℃です。
*10℃以下の場所で使用しますと噴射圧が低下し、ノズルが詰まることがあります。
*幼児・子供の手が届かない所に保管してください。
*本品は冷暗所保存です。直射日光の当たる所、車の中、ファンヒーター等の暖房機具、加熱源の周辺は温度が上がり、缶が破裂する恐れがありますので、置かないでください。
*水周りや湿気の多い所に置くと缶がさびて中身が漏れたり、破裂する恐れがありますので、置かないでください。
*捨てる時は、火気のない屋外で缶を逆さにして噴射音が消えるまでボタンを押してください。
*安全のために保管の際は必ずキャップをつけてください。
*冷蔵庫・冷凍庫には入れないでください。

◆対応ロッド

◎	超撥水ドライロッド
○	ハイパードライロッド・Zハイパードライロッド ※新品に近いほど効果が実感できない、あるいはやや性能低下する場合があります。
△	ダイウィンターラインロッド ※早期に撥水剤が剥離する可能性があります。

◆塗布の目安

磯竿は8～10釣行程度に1回、エギングロッドは6釣行程度に1回の塗布が目安です。
塗りすぎると性能低下します。

◆作業手順

1. 竿内部の洗浄

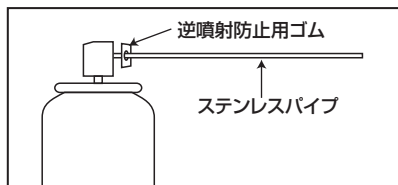
① 竿を分解し(トップガイドもはずしてください。)、真水又は35～40℃のぬるま湯で内面を洗浄し、塩分やゴミ等の汚れを十分に除去してください。
(注意) プラスチック等のご使用は絶対におやめください。また、洗剤を使って内面の洗浄をしないでください。

2. 乾燥

① 節の元側を持って数回振り、竿内部の水滴を取り除いてください。
(その際にぶつけたり、強く振り過ぎて竿を折らないようにご注意ください。)
② 新聞紙やティッシュペーパー等の上に、節の元側を下にして立て掛け、内面が乾燥するまで放置してください。
乾燥を早めるには、節の中に風を送り込むと効果的です。
(但し、ドライヤー等の熱風はおやめください。竿の変形・強度低下する恐れがあります。)

3. 塗布

① この製品には有機溶剤が含まれていますので塗布中・乾燥中ともに十分換気の良い場所で作業を行ってください。
② 超撥水ドライスプレー(1缶)で磯上物竿(#1～#4の4節)、磯上物竿マルチタイプ及び磯遠投竿(#1～#3の3節)に使用しますと約竿2本分塗布することができます。エギングロッド等の場合は#1に約8回分塗布することができます。
③ 液垂れによる汚損対策とレベリング工程のために厚手のダンボール紙をご用意ください。
④ #1や#2等の細い節(#2は、磯上物竿・磯遠投竿のような細径の場合)に塗布する際は、ノズルをステンレスパイプ付きのものに換えてください。
(#3、#4にステンレスパイプ付きノズルを使用しますと均一に塗布できませんのでご注意ください。)
また、塗布の際は同パイプの元部に取り付けられている逆噴射防止用のゴムをパイプに刺した状態で、節の端部に押し当ててご使用ください。

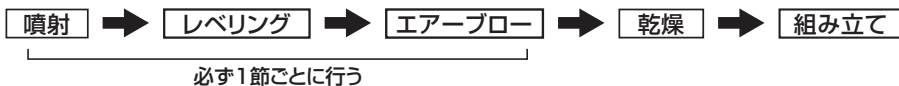


#1・#2はステンレスパイプ付きノズルボタンを使用(#2は、磯上物竿・磯遠投竿のような細径の場合)



#3・#4はプラスチックのノズルボタンを使用

塗布作業の概略作業

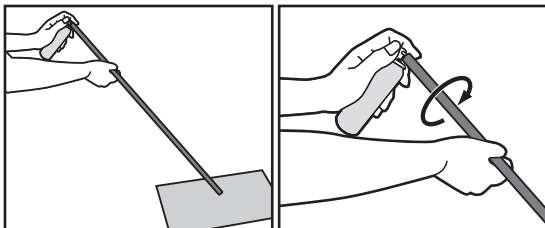


噴射作業をまとめて行いますと、均一に塗れませんのでご注意ください。
また、噴射する直前に必ず缶をよく振ってから噴射してください(20回程度)。
よく振らないと、スプレー内の粒子が沈澱し噴射されず十分な性能が得られません。また、最後まで使用できなくなる場合がございます。

- ⑤ 撥水剤塗布： 撥水剤の成分を十分混合するため、必ず各節内に噴射する直前に缶をよく振ってください(20回程度)。節の先端にノズルを差し込み、ダンボール紙の上で節を回しながらノズルボタンを押して噴射してください。

各節の噴射秒数は以下の通りです。※噴射秒数は時計を確認しながら正確に行なってください。

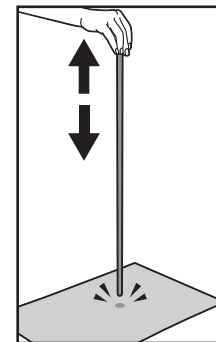
竿種		節	使用ノズル	噴射秒数	噴射方向
磯	磯上物竿 (仕舞寸法1m前後の小径竿含む)	#1	ステンレスパイプ(細径)	2秒	節の元側から先側へ
		#2		5秒	節の先側から元側へ
		#3	プラスチック(太径)	5秒	
		#4		7秒	
	磯上物竿マルチタイプ 及び 磯遠投竿	#1	ステンレスパイプ(細径)	3秒	節の元側から先側へ
		#2		5秒	節の先側から元側へ
#3		プラスチック(太径)	8秒		
船	真鯛/胴付竿 仕舞寸法120cm未満	#1	ステンレスパイプ(細径)	3秒	節の元側から先側へ
		#2	プラスチック(太径)	4秒	節の先側から元側へ
	真鯛/胴付竿 仕舞寸法120cm以上	#1	ステンレスパイプ(細径)	4秒	節の元側から先側へ
		#2	プラスチック(太径)	5~6秒	節の先側から元側へ
エギ	仕舞寸法120cm未満	#1	ステンレスパイプ(細径)	3秒	節の元側から先側へ
	仕舞寸法120cm以上	#1		4~5秒	



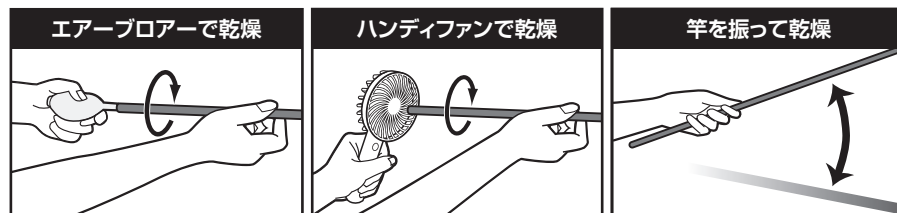
節をわずかに傾けておくのがきれいに塗布するコツです。

- ⑥ レベリング： 噴射後、すぐに節を垂直にし5cm程の高さからダンボール紙の上にトントンと10~15回程落下させてください。

撥水剤が乾く前に節内部に超撥水ドライスプレーが均一に行きわたるようにするためです。



- ⑦ エアブロー： その後、節を水平にして節を回しながら空気を送り込んでください。内部に新鮮な空気を送り内部の溶剤の揮発を促し撥水剤を乾燥・定着させるための工程です。



カメラ用のエアブローアードなど使用し60秒ほど空気を送り続けるのが一番確実です。

十分な風力のあるハンディ扇風機でも代用可能です。その場合は最も強い風力で2分ほど空気を送ってください。

節の下端を持ち、ゆっくりと上下(1往復2秒程度)に振る事でも乾燥可能です。竿をぶつけたり折ったりしないように十分注意して1節につき4分ほど継続して振ってください。

(注意)塗布ムラを防ぐために噴射(⑤の作業)~エアブロー(⑦の作業)の作業は必ず1節ごとに行ってください。

4. 乾燥

竿の元部を下にし節を立て掛けて、12時間以上乾燥させてください。
(気温の低い場所では乾燥に時間がかかります。)

5. 組み立て

乾燥後、各パーツを組み込み竿を組み立ててください。

6. 塗布の目安

磯竿は8~10釣行程度に1回、エギングロッドは6釣行程度に1回の塗布が目安です。
塗りすぎると性能低下します。